

アジアのブドウ市場の動向

FreshPlaza 2025年4月8日

世界のブドウ市場は大きな変革期を迎えている。アジア、南米、米国では、輸出業者、小売業者、生産者は、消費者トレンドの変化、競争の激化及び物流のボトルネックによって形作られた新たな現実と直面している。これらの地域のブドウ市場は現在、どのような状況にあり、どこに向かっているのだろうか。

世界的な競争が激化 消費の観点から見ると、コロナ禍後の経済の軟調が続く中、アジアの需要は全般的に減少している。インターナショナルプロデュースグループ (IPG) 社 (本社米国) のダルトン・ドボリス氏は、「消費者の可処分所得は減少しているが、彼らの期待はかつてないほど高まっている。スーパーの買い物客は今、4〜6の異なる国から同時に出荷された生食用ブドウ、サクランボ、リンゴやその他の果実でいっぱいの売り場を眺めている」と話す (以下「」は同氏の話)。記録的な出荷量のチリのサクランボは、非常に低価格でアジアに殺到し、ブドウの需要に大きな影響を与えた。香港などの主要市場では、ブルーベリーの人気が急上昇し、健康上の利点と利便性に対する認識によって、ブドウの直接の競争相手となった。

「最近アジアを訪れた際、卸売市場では、ペルー、チリ、南アフリカ、オーストラリア、インド、中国からのブドウ、さらには中国産の偽装オーストラリア産ブドウまでが同時に扱われていた。」非常に多くの選択肢が手に入るようになったため、競争と消費者の基準は急激に上昇している。以前とは異なり、アジア市場は現在、サイズや一般的な外観よりも味と茎の鮮度を重視している。「ペルー産のブドウは、その印象的な大きさにもかかわらず、茎が乾燥しているために苦戦していた。一方、オーストラリア産のブドウは、少し小さいながらも新鮮で、市場の好みを捉えていた。」

興味深いことに、これらの課題にもかかわらず、一部のアジア諸国ではブドウの消費量と購入量が毎年増加し続けており、これは特にペルーとチリのブドウシーズンと一致する11月から4月にかけて顕著である。しかし同時に、これらの国の生産者の収益は前年比で減少している。この矛盾は、主にこの期間の世界的な供給過剰に起因している。複数の産地からの大量のブドウが、需要が吸収できるよりも早く市場に殺到するため、価格に大きな下押し圧力がかかる。生産者が収益性を維持するためには、植え付けの決定を慎重に管理し、市場を戦略的に配分する必要がある。

アジアの新たな現実：価格、味、鮮度 アジア全域の小売段階では、ブドウはブランドパッケージや原産国ラベルなしにバラ売りされることが多い。これは、ブドウが主に鮮度、味、サイズ、価格に基づいて競争していることを意味する。アジアの消費者は、圧倒的に緑色で種無しのプレミアム品種、特にオータムクリスプ®とスイートグローブ™を好む。赤と黒の種無しプレミアム品種の需要は年々減少し続けているが、スイートセレブレーション、ルビーラッシュ、及び様々なキャンディ系やマスカット系の品種等の高品質な特産ブドウのニッチ市場は残っている。

人気のある米国産のキャンディ系の品種でさえ、深刻な供給過剰のために価格の下押し圧力と直面している。「アジアを旅行している間、販売されているブドウの約90%が緑の種無しであり、そのシェアのうち85%がスイートグローブとオータムクリスプであった。しかし、品質は生産者や地域によって大きく異なっている。」

ドボリス氏は、今後アジアでは最高品質のブドウだけが生き残り、繁栄すると固く信じている。「平凡な果実や平均的な果実が生き残る余地はない。」アジア市場は現在、最高級のプレミアム品質のブドウのみを選択的に購入しており、この傾向は既に米国産、ペルー産、チリ産のブドウにはっきりと表れている。市場での価格差は驚異的である - プレミアム品質の緑色ブドウと平凡な、または平均以下のブドウの場合、その差は簡単に1箱当たり20ドルに達する可能性がある。アジアは今や極めて選択的になれるだけの余裕があるため、最高品質の果実だけが成長の機会を確保できると見られる。

ペルーはオーストラリアとの激しい競争に直面 ペルーは依然としてアジアへの主要なブドウ輸出国であるが、特に旧正月 (CNY) の後の時期のオーストラリアとの競争はますます厳しくなっている。オーストラリア産のブドウは、輸送時間が短く、より新鮮なより良い状態で到着するという恩恵を大いに受けている。「東南アジアでは、パックされた日付が12月と1月のペルー産ブドウの隣に、3月にパックされたオーストラリア産のブド

ウが並んでいた。」

消費者は茎を食べる訳ではないが、その鮮度は市場性の重要な指標となっている。以前は、ペルー産のブドウは、茎がわずかに乾燥していても大きな問題なく市場に参入することができたが、今日では、より迅速な輸送時間と航空貨物による輸送能力を活用するオーストラリアや南アフリカとの競争により、大きな差を付けられている。物流を改善し、主要なアジア市場への航空貨物によるアクセス - 現在は植物検疫プロトコルによって制限されている - を確保することは、ペルーが市場シェアを維持する上で重要である。

米国産のブドウは中国との競争の激化に直面 中国は最大の競争相手として急速に浮上し、ブドウの生産、品質、物流、市場の支配において世界的な大国へと変貌を遂げている。「中国のブドウの品質は劇的に向上しており、クリムゾン、ロングクリムゾン、レッドグローブ、メロディ™、スイートサファイア™、アドラ®などの品種は、一貫してしっかりした茎、鮮やかな色、並外れた新鮮さで着荷する。」中国産のブドウは米国産よりも30～40%安く、競争をさらに激化させている。さらに、中国は現在、レッドグローブを年に2回収穫しており、オフシーズンのない年間を通じて一貫したブドウの供給国となっている。

中国はかつて米国と南米諸国のブドウの主要な顧客であったが、今日では最も手強い競争相手になりつつある。「カリフォルニア州のブドウのシーズン中、中国は主に赤い種無しブドウで挑戦してくるが、次第にプレミアムな緑色品種や権利関係の有る品種を植えることが多くなっている。」

長くて信頼性に欠ける輸送時間 フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナムなどの極東市場は、ブドウの品質に関して特に厳しく、茎の新鮮さと完璧な外観が求められる。一方、米国のブドウ価格は人件費の高騰により上昇を続けており、皮肉なことに米国からの海上輸送の所要時間は劇的に悪化している。アジアの小売業者は、着荷時の品質劣化のために、海上輸送される米国産ブドウの購入を躊躇している。

「IPGでは、物流上の課題により、輸出戦略が劇的に変化した。以前は、ブドウの90%近くが海上輸送で出荷されていたが、海上輸送時間がますますかかり信頼性が低下したため、現在では半分以上が空輸で出荷されている。航空貨物は全体の量が制限され、コストが増大するが、ますます選択が厳しくなるアジアの市場でプレミアム価格を正当化するのに十分な鮮度でのブドウの着荷を保証してくれる。残念ながら、航空貨物のコストが高いため、輸送できる総量は限られている。しかし、米国産ブドウのプレミアムな品質と評判を保護するためには、このアプローチが不可欠である。「我々は、常に最適な状態で果実を提供することで、生産者の評判と市場での適性を維持することに取り組んでいる。米国からの海上物流が大幅に改善されるまでは、航空貨物を戦略的に活用することで、生産者の収益を保護し、中国のより迅速で費用対効果の高い供給に対する競争力を維持することができる。」

将来の成長に向けた市場の多様化 アジアから南米、北米まで、ブドウ産業は重要な転換点に立っている。「ブドウの未来は、スピード、ブドウの状態、適応力にかかっている。ペルー、チリ、米国の生産者達は、市場を多様化する必要がある。IPGでは、市場機会を拡大し、生産者がこの困難な状況を乗り越えられるよう支援することに引き続き取り組んでいる。弊社は、利用可能なあらゆる市場機会を積極的に探究し、引き続き生産者の果実の多様性と収益を最大限に提供している。我々は、今後何世代にもわたりブドウ業界の繁栄と持続可能性を支えるため、すべての生産者に最大限の成功を確保することに尽力していく。」

米国の生産者にとっての楽観的見通し 「アジア中の取引先と話をした結果、関税や貿易戦争の潜在的な課題をうまく乗り越えることができさえすれば、これからの米国のブドウシーズンについて非常に楽観的な見方が広がっている。私は、生産者の皆様に、プレミアムな緑色種無し品種への取り組みを維持し、差別化されたブランド戦略と革新的なパッケージへの投資を続け、ブドウの貯蔵性を高めるポストハーベスト技術を採用することを強く推奨する。たとえ物流が依然として困難であっても、思慮深く提供された優れた品質のブドウは、常に熱心な市場を見出すことができるだろう。我々は、積極的に適応し、これらの重要な世界市場でのプレゼンスを自信をもって守り、拡大し続けるべきである。」

執筆者： マリーカ・ヘムス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)